

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ヴォイストレーニング1	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	選択ボーカル	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	安藤末緒		実務経験の有無・職種	有 プロシンガー	
学習目的					
この科目ではボーカルの基礎となる呼吸法を修得するための演習を中心に行います。ボーカリストとしての基本はもちろんのこと、「ダンスボーカル」を意識した呼吸法を習得します。必要に応じて課題曲の発表やグループでのアンサンブルを実施します。ライブパフォーマンスの実習などを経て、自身の個性を生かしたパフォーマンスができるように表現力を磨くことが目的です。					
到達目標					
この科目では発声の為の体の使い方、呼吸法を習得します。体の構造を理解した上での基礎練習を行い、呼吸法やリズムの取り方の練習を毎回実施することで、より声の出しやすい体を作ります。リズムトレーニングと合わせてダンスボーカルの基礎を習得しますので、授業内でグループを組んでの練習や発表を行うことが目標です。					
教育方法等					
授業概要	通年で基礎呼吸法、リズムトレーニングによる発声練習を行いヴォーカルの基礎力を養うとともに、個人指導を含む歌唱指導やダンスボーカルグループを組んでの実技指導を行います。必要に応じて、ダンスボーカル以外の呼吸法の指導を行うこともあります。授業時は個人指導を行う時間もあるため、メモを取りながらの授業参加も可能です。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。理由のない遅刻や欠席は認めません。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス メソッドについての説明、個々のスキルチェック		自分の現状のスキルを理解し、今後の課題を立てていく		
2回	発声基礎練習と体の使い方①		基礎的な発声方法を学ぶ		
3回	発声基礎練習と体の使い方②		基礎的な発声方法を習得する(ボーカルに必要な柔軟運動)		
4回	発声課題による基礎トレーニング①		基礎トレーニングを持続する(腹式呼吸の理解)		
5回	発声課題による基礎トレーニング②		基礎トレーニングを習得する(リズムと発声)		
6回	チェストヴォイス歌唱実習①		基礎的な歌唱方法の基礎を学ぶ(チェストヴォイス)		
7回	チェストヴォイス歌唱実習②		基礎的な歌唱方法を習得する(チェストヴォイス)		
8回	課題曲を使つてのヴォーカルトレーニング①		発表に向けての精度を上げる（課題曲の表現方法を研究）		
9回	課題曲を使つてのヴォーカルトレーニング②		パフォーマンス演習（実演を伴う歌唱トレーニング）		
10回	到達度確認		クラス内で成果発表 意見交換		
11回	ヘッドヴォイス発声演習①		基礎的な歌唱方法を学ぶ（ヘッドヴォイス）		
12回	ヘッドヴォイス発声演習②		基礎的な歌唱方法を習得する（ヘッドヴォイス）		
13回	課題曲を使つてのヴォーカルトレーニング③		発表に向けての精度を上げる（グループでの構成分け）		
14回	課題曲を使つてのヴォーカルトレーニング④		グループでの発表を意識する（グループでの構成を伴う歌唱トレーニング）		
15回	グループでのアンサンブル・まとめ		クラス内で成果発表（チーム発表会） 意見交換 まとめ		